

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

10月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS



第2回「古典の日文化基金賞」受賞者と村田理事長(古典の日文化基金顕彰委員会会長)

- P1…国際会議等誘致・開催状況について
- P2…京の修学旅行3密防止対策等支援事業の活用状況について
- P2…にち・とまキャンペーンの実施について
- P3…花灯路・ライトアップ支援事業
- P3…京都市中小企業等総合支援補助金(受付期間:10/31まで)
- P4…古典の日に関する法律施行10周年を迎えて
- P4…古典の日文化基金賞授賞式

MICE

国際会議等誘致・開催状況について

京都では、コロナ前の2019年には過去最高の国際会議開催件数を記録(383件)したものの、コロナ禍により、2021年は過去最低の開催件数となりました。

本年6月の水際対策緩和を受け、国際会議は少しずつ開催が戻りつつあります。また、一部の国際会議では、レセプションも再開されつつあります。7月8日の国際膵臓学会がレセプション会場として京都水族館を活用した他、8月24日の国際脳神経血管内治療学会では、平安神宮会館他を活用しています。

(今年中に開催される主な国際会議(予定))

学会名称	開催期間	総参加者数(名)
第26回国際膵臓学会 第53回日本膵臓学会大会 合同開催	7/6(水)~7/9(土)	1,400
第16回世界脳神経血管内治療学会	8/20(土)~8/25(木)	1,000
第13回世界核医学会	9/5(月)~9/11(日)	4,000
科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)	9/27(火)~10/4(火)	1,400
第19回年次総会		
PG & VC Kyoto2022	10/5(水)~10/8(土)	650
第29回国際高血圧学会	10/11(火)~10/16(日)	4,000
ROSCON 2022	10/18(火)~10/21(金)	600
知能ロボットとシステムに関する国際会議	10/22(土)~10/27(木)	5,000
第13回日米協会国際シンポジウム京都大会	11/3(木)~11/4(金)	300
FAOPMA PEST SUMMIT 2022	11/6(日)~11/8(火)	500
第13回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式	11/13(日)~11/14(月)	600
Art Collaboration Kyoto	11/14(月)~11/21(月)	5,000
法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラム	12/2(金)~12/4(日)	120
第20回CIGR(国際農業工学会)世界大会2022	12/5(月)~12/8(木)	1,000

また、今後の国際会議については、コロナ前と変わらないペースで誘致成功案件を積み重ねております。

(誘致に成功した、主な国際会議) ※誘致に成功した会議のうち、公開可能なもの

学会名称	開催期間	総参加者数(名)
10th PAAMES Forum and AMEC 2023	2023年10月	160
アジア太平洋膵臓学会	2024年3月	4,000
国際数値燃焼学会	2024年5月	400
国際燃焼シンポジウム	2026年6月	2,000

当ビューローでは、コロナ禍からのいち早い回復を目指し、これまで培った誘致力を基に、京都府・京都市や会議施設、MICE関連事業者の皆様と連携して、引き続き誘致を進めてまいります。



第26回国際膵臓学会/第53回日本膵臓学会大会(7月)の会議の様子

令和元年には、70万人を超える修学旅行生が京都を訪れていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年は15万人と大幅に減少しました。しかし、昨年京都を訪れた修学旅行生は24万6千人と前年の1.6倍となり、回復の兆しを見せています。

当ビューローでは、安心・安全な京都の修学旅行を楽しんでいただけるよう、京都府からの補助金を財源とした「京の修学旅行3密防止対策等支援事業」を令和2年度から実施し、修学旅行中の密集、密閉、密接な状態を避けた移動・滞在を確保するための支援や、生徒が新型コロナウイルス感染症陽性と判明した際に保護者等が送迎を行う交通費等の負担軽減の支援を行っています。

さらに今年度から、修学旅行の行程として「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」といった「もうひとつの京都」エリアを周遊した場合に加算できる「府域周遊加算」、歴史や伝統産業などの体験機会を提供する施設を利用した場合に補助金を上乗せできる「教育関連施設利用加算」の2つの加算制度を新設しており、「府域周遊加算」は申請校全体の約30%、「教育関連施設利用加算」は約70%の学校に活用いただいています。

事業を活用した学校からは、「コロナ禍により入学当時からいろいろな行事が中止になっている中、なんとか修学旅行だけでも実施したいという生徒の思いにこたえることができた」「他の地域も検討していたが、京都のコロナ対策と補助事業が後押しとなって修学旅行が実現できた」「生徒が京都の文化に触れる貴重な機会となっ

た」などの声が寄せられています。

府域周遊加算の活用が可能なエリアでは、舞鶴引揚記念館での平和学習や、美山町・和束町での農家民泊体験など、多彩なプログラムが準備されています。京都府南部のけいはんな地域には、先進的な研究を行う施設や最先端技術に取り組む企業が集積しており、修学旅行生にもさまざまな学習体験を提供しています。

2025年の大阪・関西万博開催を控え、最先端技術や未来社会への関心が高まる中、修学旅行や国際会議等 MICE 誘致に向け、けいはんな地域をはじめ京都府内の各地域と一層の連携を進めてまいります。



舞鶴引揚記念館での体験学習の様子



【キャンペーンの詳細】

<https://www.sunday.kyoto.travel/>



新型コロナウイルスの感染拡大に伴う長期の影響に加え、原油価格高騰や物価高騰等により厳しい環境にある京都観光について、8月の盆明け以降から10月にかけて、稼働率が低下する日曜日等の宿泊観光を促進し、幅広い市内での需要喚起につなげるキャンペーンを実施しています。

当ビューローでは、京都市観光協会と連携して本キャンペーンの事務局業務を担い、宿泊施設と、宿泊施設の利用者（旅行者）に交付する電子地域クーポンの取扱店舗を募集するなど、市内事業者と連携して取り組んでいます。

当ビューローが参画する京都・花灯路推進協議会では、昨年度で終了した「東山花灯路」「嵐山花灯路」で使用していた行灯等を貸し出すことで、「灯り」をテーマとする京都の夜の新たな風物詩となるよう「花灯路・ライトアップ支援事業」を実施しています。

京都の夜の魅力アップを図るため、団体・グループ、企業等が期間を定めて実施する京都の観光振興や地域振興に資するライトアップイベント等に対し、露地行灯をはじめ、スポットライトや設置に必要なケーブル、分電盤などを貸出します。

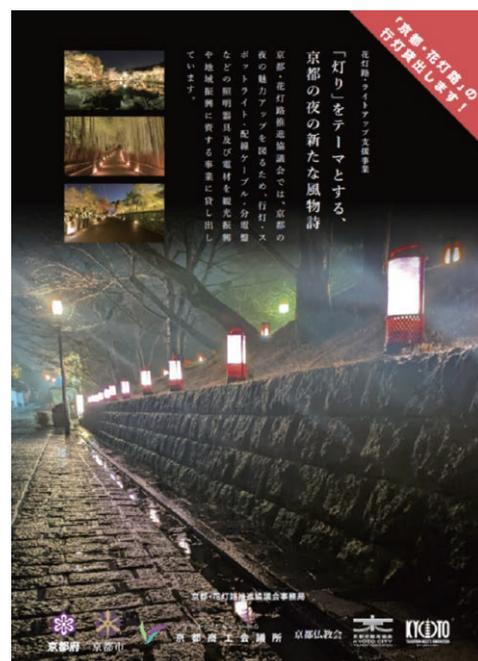
貸出費用は、基本料 33,000 円のほか、貸出物品毎に貸出期間に応じて積算される金額となりますが、以下の条件を満たす場合は貸出費用の合計金額から割引することとしております。

- ① 初めて貸出を受けられる団体：▲ 20%
- ② 貸出を受ける事業の実施期間の全てが、12月1日～2月末日に含まれる：▲ 5%
- ③ 貸出基数の合計が 100 基以上：▲ 5%

また、「花灯路」の名称は商標登録されていますが、花をテーマにしたイベント、100 基以上の行灯をメインで使用、町並み・文化・伝統産業など京都らしさを採り入れているといった諸条件を満たすイベントについては、名称使用が許可されます。

申請については、花灯路・ライトアップ支援事業ホームページ（QRコード参照）から行うことができます。

事業に関するお問い合わせがございましたら、京都・花灯路推進協議会事務局（電話：075-212-8173）へお願いいたします。



（事業例）宇治川派流沿い照明設置の実証実験
（主催：「川のみなとオアシス水のまち京都・伏見」運営・まちづくり協議会 7/29～8/6）

京都市では、次のいずれかに該当する市内の中小企業・個人事業者の皆様（文化芸術・スポーツに携わる事業者も含む）を対象に、材料費や仕入れ、外注にかかる費用のほか、燃料費、光熱水費、人件費、事務所等の家賃や資金調達コスト等、事業継続に必要な経費の補助制度（補助率：10/10、上限額：法人 10 万円、個人事業者 5 万円）を設けています。申請受付期限が迫っております。申請をお考えの場合はお早めにお手続きをお願いします。

① 売上高が減少した事業者向け

令和 4 年 4 月から同年 9 月までの間におけるいずれかの月（対

象月）の売上高が、平成 31 年 4 月から令和 3 年 9 月までの間における対象月と同月の売上高と比較して、30%以上減少している方

② 地域の物流を支える事業者向け

直近の事業年度の売上高において、貨物自動車運送事業による売上高が最も多い方（ただし、貨物自動車利用運送を専業としている方は除く）



詳細はこちらから

2012年9月に「古典の日に関する法律」が制定されて10年を迎える今年は、記念事業を2日連日で開催いたします。10月31日に京都劇場で古典の日フォーラム、11月1日に京都コンサートホールで朗読コンテストの最終審査会が開かれます。いずれの会場でも、今年新たに作曲したテーマ曲「古典の日燦讚」が披露されます。

来年京都に移転する文化庁と共催になるフォーラムは、全国への発信を図ろうと国民文化祭との連携を視野に、今年の開催地である沖縄県の「琉球舞踊と組踊」が上演されます。組踊は琉球王国時代から継承されている歌舞劇で、国の重要無形文化財に指定されています。

朗読コンテストのテーマは、「人の心の種～和歌（やまとうた）～」です。一般部門と中学・高校生部門で、一次・二次審査を通過された方々が出場します。日本の古典の英訳で人気のピーター・マクミランさんによる「連想の帝国-日本文学における連想の働き-」と

題した講演を企画しています。

「古典の日に関する法律」に掲げられた「心のよりどころとして古典を広く根づかせ、もって心豊かな国民生活及び文化的で活力ある社会の実現に寄与する」という目的が達成できるよう、引き続き古典への関心と理解を深める取り組みを進めていきます。

11月1日は古典の日です。



組踊「執心鐘入」



ピーター・マクミラン氏

9月2日、名誉総裁の彬子女王殿下をお迎えして第2回の授賞式が開催され、テーマ曲の「古典の日燦讚」が、古典の日宣言と共に初めて披露されました。

「文学・思想」分野は、アイヌ伝統文化の継承、発信に功績があった知里森舎と札幌大学ウレシパクラブの2団体が共同受賞。

「伝統芸能・音楽」分野は、江戸時代から続く人形浄瑠璃を継承する淡路人形座に。

「美術・生活文化」分野は、大津絵の再発見に貢献した美術史家のクリストフ・マルケ氏。

今年新設された「未来賞」は、『源氏物語』を楽しく学ぶ活動が続いている宇治っ子朗読劇団☆Genji、宮廷装束で和歌を詠みあげる披露の伝統を継ぐ京都府立鳥羽高等学校披露研究部、大学生が主催し小学生たちに短歌創作など古典に親しむ活動が続いている福岡県の津屋崎臨海学校実行委員会の3団体に贈られました。

また、「古典の日」の普及発展に尽力されている雅楽師の東儀

秀樹氏・東儀典親氏父子に、会長特別表彰が贈られました。

授賞式後の座談会では、京舞の人間国宝の井上八千代さんとご息女の安寿子さんをお迎えして、古典芸能解説者の葛西聖司さん聞き手に、伝統を継いでいくことについてお話を伺いました。



「古典の日燦讚」演奏：大谷祥子と六条院楽坊



鳥内咲良さん、吉川輝竜さん
（宇治っ子朗読劇団☆Genji）による古典の日宣言

新規賛助会員のご紹介（受付順）2022年8月末受付分まで

バリューマネジメント株式会社
（平安神宮会館）
TEL：0120-075-390
<https://www.heianjingu.com/#page2>

ART MON ZEN KYOTO
（有限会社茶道具なかにし）
TEL：075-551-0009
<https://www.amz-kyoto.jp/ja/>

株式会社センチュリーアンド
カンパニー 西日本事業部
TEL：06-6636-3203
<https://www.century-and.co.jp/>

株式会社ジェイアール東海
エージェンシー
TEL：075-606-2746
<https://www.jrta.co.jp/>